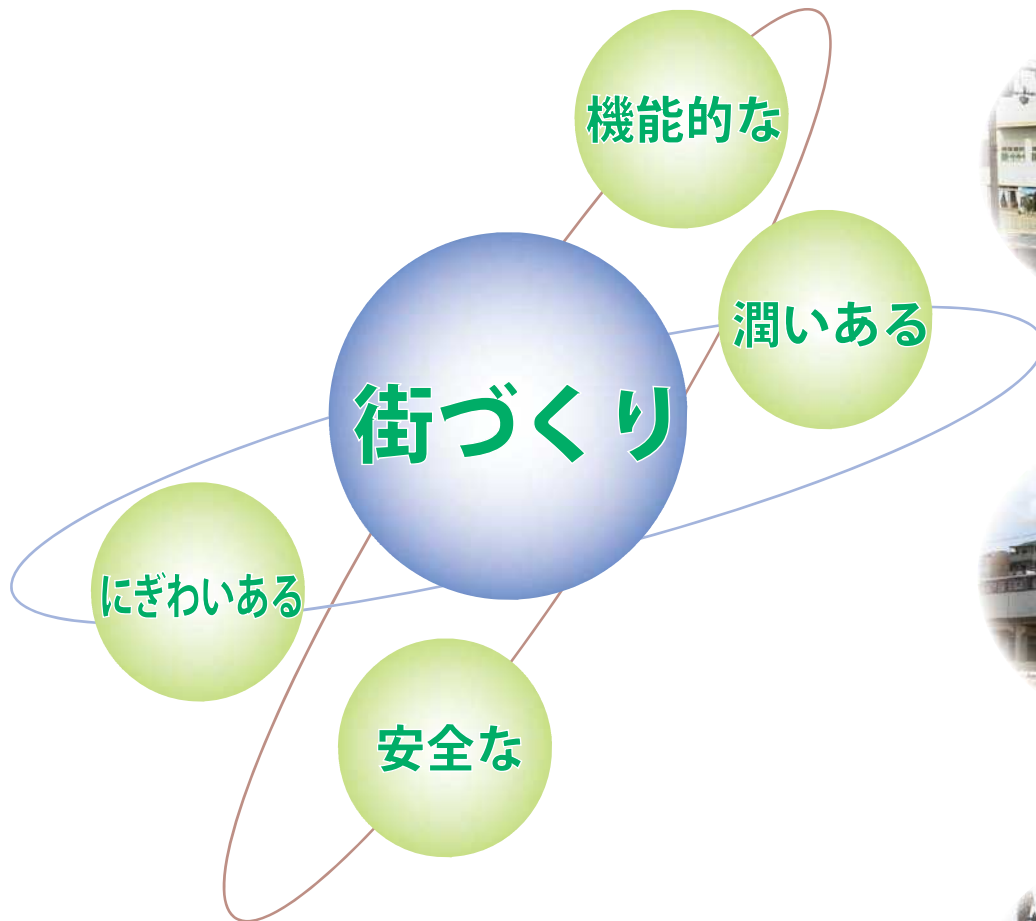


連続立体交差事業とは…

都市部における道路整備の一環として、道路と鉄道の交差部において鉄道を高架化、または地下化することで多数の踏切を一挙に除却し、踏切事故・踏切渋滞を解消します。都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業です。



地域一体化



踏切解消



側道整備



高架下利用

- 交差道路の整備により地域間の移動を円滑化
- 鉄道で分断されていた地域の一体的な整備が可能
- 駅前広場の整備による乗継ぎ利便性の向上
- 踏切事故を解消
- 交通渋滞を解消し交通を円滑化
- 踏切遮断中の待ち時間による経済損失の解消
- 踏切遮断中のアイドリングによる環境負荷を減少
- 歩道の整備により歩行者の安全性が向上
- 沿線周辺の交通円滑化
- 環境面に配慮した側道整備
- 高架下には公共施設の整備が可能であり利便性が向上
- 商業施設や地域施設の整備により周辺市街地が活性化